

令和8年度

新開小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎基本の定着とそれを活用し、表現する力の育成
- 主体的・対話的で深い学びの実践

校長

海老名 三智子

学力向上推進員

村山 恵梨華

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○課題に真面目に取り組む、課題解決に向けて努力する習慣が身に付きつつある。</p> <p>○学習内容を理解しようと、課題に真面目に取り組むことができる児童が多い。</p> <p>●文章から必要な情報や問われていることを読み取ったり、既習の知識と関連付けたりすることに課題がある。</p>	<p>・日頃から文章を読む習慣をつけ、語彙を増やし、言葉を大切にすることができるようにする。</p> <p>・普段の授業から新しく学習した語彙を活用して自分の意見を発表させたり、文章を書いたりすることができるようにする。</p>	<p>・学習内容については定期的に補充学習を行ったり、家庭と連携したりしながら定着を図るようにする。</p> <p>・読書や阿波っ子タイムズの活用により、正しい表現にふれることができるようにする。</p> <p>・問われていることや必要な情報を明確にするための視覚的な作業活動を取り入れる。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○見たことや想像したことを絵で表現することに積極的な児童が多い。</p> <p>○多様な考えをもっており、小集団では伝え合うことができる。</p> <p>●自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりするだけで、自分の考えを深めることやつながりのある質問をする力が不足している。</p>	<p>・「聞く」力を向上させ、普段の授業の中で自分の意見と友達の意見を比較検討できるようにする。</p> <p>・目的意識をもって意見交流を行い、考えを深め合うことができる力を促進する。</p>	<p>・導入を工夫し、目的意識をもって学習課題に取り組むことができるようにする。</p> <p>・思考ツールを有効的に活用し、自分の考えをまとめたり、他者の意見と比較したりする学習活動を行う。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○興味のある学習内容について真面目に取り組むことができる。</p> <p>●日々の学習の中で自らの学びを自覚したり、不得意な学習内容に対して自分で計画を立てて克服することに課題がある。</p> <p>●自尊感情の低さから、失敗を恐れ、難しい課題に粘り強く取り組むことに課題がある。</p>	<p>・自分の学習状況をしっかりと振り返り、家庭学習の手引きを活用し、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。</p> <p>・不得意なことに対して、試行錯誤しながら課題解決を図り、成就感を味わうことができるようにする。さらに、次の課題への意欲につなげ、自尊感情を高める。</p>	<p>・ポジティブな行動支援を学習や生活の両面で行うことで児童の自己肯定感を高めるように取り組む。</p> <p>・学校全体で人権教育を推進し、はげまし合って高め合える人間関係づくりを推進する。</p>			